



川風を感じて 三密を避けながら【田舎の新しい会食】提案します

当店は、喜多方の中心を流れる田付川の土手沿いにあり 全ての部屋が **窓を開けると爽やかな川風が吹き込み 換気にも優れています**。三密を防ぐために、広めの座敷テーブル30卓 導入しましたので、コロナが落ち着けば60人までの会食ができます。飛沫感染防止の為に、アクリル板 35個導入しましたのでご利用下さい。また、客室すべてが独立した部屋になっているので 知らないお客様からの感染の危険性が少ないだけでなく、**客室が広いので 対面のお客様とは 3Mは離れますので 飛沫感染の危険性も、非常に低いです**。話題のオゾン消毒器も、導入しました。



◆高濃度オゾン発生器で消毒

オゾン生成量 600mg/h で 強力脱臭&強力消毒
会食前後の座敷を、強力オゾン発生器で消毒します

◆低濃度オゾン発生器で感染予防

オゾン生成量 4/6/8mg/h 低濃度オゾンで感染予防
会食中の座敷を、低濃度オゾン発生器で感染予防します

◆感染予防の為に、数々の取り組み

- 【1】 広めの座敷テーブル 30卓 導入しました
飛沫予防に アクリル板 35個 導入しました
- 【2】 スマホ利用の「感染連絡メール」始めました
非接触型体温計・消毒アルコール設置しました



大広間 64畳 中広間 42畳 小部屋 20畳 小部屋 20畳 ホール 45坪

感染症は、飲食店が注意しても 感染したお客様が来店すれば防げません
感染流行地域に行った時は 注意する、体調が悪い時は会食を避けて下さい



三密を避けながら【田舎の新しい会食】提案します

新型コロナの大きな特徴は、若い人は無症状感染が多く ほとんど重傷化しないという事です。インフルエンザと違って 密になりやすい都会型の病気で 過疎地の田舎では 感染者が少ないという事です。今、5人以上の会食は危険だと盛んに注意喚起されていますが それは単に、対処療法にすぎません。都会では、どんなに頑張っても「三密」を避ける事はできません。それで、感染者が増え続けています。という事は、有効なワクチンが出来て 感染検査が簡単にできるまで、感染流行を止める手段がありません。

田舎には、「三密のない過疎地」「顔見知りの住民」ですから、都会と違った防御策が きっとあります。田舎における最大の感染症対策は、感染にこだわって ギスギスした人間関係を作ることなく 会津人らしく 他人に気配りしながら、一人一人が普通に 三密の場所では マスクをする生活をする事です。

感染症は、飲食店が注意しても 感染したお客様が来店すれば防げません
感染流行地域に行った時は 注意する、体調が悪い時は会食を避けて下さい

- 【1】 各部屋に「非接触型体温計」「消毒アルコール」を 準備しています
- 【2】 QRコードを利用したスマホ利用の「感染連絡メール」始めました
- 【3】 感染予防の消毒に、「高濃度オゾン発生器 600mg/h」導入しました
- 【4】 会食中の感染予防に「低濃度オゾン発生器 4/6/8mg/h」導入しました
窓が締め切りになる季節は、感染防止のために 加湿器で加湿します
- 【5】 大広間 中広間 小部屋2部屋に、二人用座敷テーブル導入しました
対面の人とは3m以上離れますから 飛沫感染を気にせず会食できます
- 【6】 3mm アクリル板 35個準備しました 飛沫感染予防にご利用下さい
- 【7】 「新しい宴会の提案」、宴会を数部屋で分割する方法も提案しています

喜多方の中心を流れる田付川の土手沿いにあり 全ての部屋が **窓を開けると爽やかな川風が吹き込みますので 爽やかな川風の中 会食をお楽しみ下さい**

